

チームで取り組む

「ビジネス整理術」

〈3〉

「段取り」から始まる効率
的な仕事

今回は、効率的な仕事を
するポイントを解説しま
す。効率的な仕事によっ
て、職場環境も改善され
ます。

仕事の渋滞原因の一つに
段取りをきちんとしてい
ないことがあります。段取
りとは「ものごとが上手く
進むように、順序や方法を
決めて準備を整える」こと
です。コンサルティングや
研修で「仕事を進める際

段取りを立てていますか
？」と質問すると、多くの
人は「会議や外出などの予
定を手帳やスマホに記録し
ています」と答えます。し

かし、段取りは外出や会議
などの予定よりも、自席で
行う見えない仕事に対して
こそ行すべきものです。

見えない仕事にこそ「段取り」を

振り返る↓Actやり方を
改善する、を行います。

段取りは仕事に取り掛か
る前までに立てる必要があ
りますが、まとまった大き
さの仕事だけでなく、「A
さんにメールを送る」「B
さんに電話する」などのよ
うに小さな事柄も記入しま

か、段取りは外出や会議
などの予定よりも、自席で
行う見えない仕事に対して
こそ行すべきものです。

人材育成社
取締役 コンサルタント

芳垣 玲子

Check検証↓Act対策)

サイクルを回している人は
多いと思いますが、1日の
中でも段取りのPDCAを
回すことが必要です。Pla
n今日の予定(作業、約束)
を計画する↓Do実行(作
業、約束)する↓Check
「できた」「できない」を

す。ゆがんで、自分が行った
だけでなく、「Cさんからメ
ールの返事待ち」「提出し
た資料の上司の承認待ち」
などの待ちの事柄も書くこ
とが大切です。こうしたこ
とは、わざわざ段取りに入
れるほどのことはないと思
えがちですが、忘れてしま

うと大きなミスの原因にな
ることもあるからです。

また、段取りを立てる際
は、仕事をできる限り細か
い作業に分解することが必
要です。たとえば、会議資
料を作成する場合、「テー
マに関する情報収集」「文
章作成」「内容チェック」

「印刷」「関係者に配付」
のように個別の作業に分解
し、各々かかる時間を見積
もります。仕事を一つの塊
でとらえると、作業時間の
見積もりが大雑把になって
しまいますが、個別の作業
に分解することで見積もり
の精度を大幅に上げること
ができます。作業にかか
る全体時間を把握できると、
納期から逆算して、その仕
事に取り掛かる「着手日」
も設定できます。

最後に、段取りを立てる
際は「バッファ」を設け
ることも大切です。バッフ
アとは直訳すると「緩衝
材」のことですが、作業と
作業の間に余裕時間を作っ
ておくことです。バッファ

「印刷」「関係者に配付」
のように個別の作業に分解
し、各々かかる時間を見積
もります。仕事を一つの塊
でとらえると、作業時間の
見積もりが大雑把になって
しまいますが、個別の作業
に分解することで見積もり
の精度を大幅に上げること
ができます。作業にかか
る全体時間を把握できると、
納期から逆算して、その仕
事に取り掛かる「着手日」
も設定できます。

最後に、段取りを立てる
際は「バッファ」を設け
ることも大切です。バッフ
アとは直訳すると「緩衝
材」のことですが、作業と
作業の間に余裕時間を作っ
ておくことです。バッファ

「決断力」

向上の秘訣

③

決断する事柄に関する有効
な情報を多く集める

「決断力」はリーダーシ
ップの重要な要素であり、
優れた決断は望ましい仕事
上の成果を達成するもので
ある。今回のポイントは「決
断する事柄に関する有効な
情報を多く集める」である。

このポイントは決断する
エリアの全体像を把握する
観点で重要である。特に自
分にとって自信のない問題
であれば関係する情報はす
べて揃えるようにするこ
と。情報源として利用でき
るものは、①会社が保存し
ている資料、②上司、同僚、
得意先からのインプット、

成功事例を3点セットで分析

③業界誌、書籍、インターネ
ット情報等がある。有効な
多くの情報を収集、分析す
ることで正しい決断の方向
性が見えてくるのである。

そして、すべての情報が
集まるまで決断は下さない
こと。充分な情報収集をせ
ず即決で下した決断は、た
いてい後で後悔する。

過去事例を収集した次のス
テップを紹介しよう。

最初に、「ベストプラク
ティス」を見つけてること
である。ベストプラクティス
とは「最も優れた成功事例」
という意味である。過去の
事例をそのまま活用するの
ではなく、収集した多くの

情報を分析し、よりベスト
な成果を出すにはどのよう
な決断をすればよいかを考
えることが重要である。

つまりベストプラクティ
スを分析することで、今回
の決断に必要な重要ポイン
トを導き出すのである。

では次にベストプラクテ

ィス分析の三つのプロセス
①「FACT(事実)」②
「MATH(数字)」③「L
OGIC(ロジック)」を
紹介しよう。

まず実際に起こった「事
実」から「数字」を収集し、
それを分析することにより
複数の成功要因を「ロジッ
ク」として導き出す。この
ロジックが今回も適用でき
ると仮定すると、それに基
づく決断をすることで目標
達成の可能性は高くなる。

ラグビーワールドカップ
の快挙の例で説明しよう。
日本は世界ランク第3位の
強豪南アフリカに勝利した

「事実」。スコアは34対
32、「数字」。そして勝利
の四つの理由「ロジッ

ク」、すなわち①必ず勝つ
という強い決意、②タック
ル強化のための体重増加、
③ハードワークでのスタミ
ナ強化、④五郎丸の正確な
キック——これがベストプ
ラクティスの分析である。

このロジックが正しいと
仮定すれば、これをさらに
強化し、新たな戦略を加え
ることで次回ワールドカッ
プでの日本勝利の可能性が
高くなるのである。

小森コンサルティングオフィス
代表

小森 康充

では多くの有効な情報、

決断に迷った時どうする
か？有効な情報を多く集
め、「ベストプラクティス
は何か？」この質問を常に
自問自答し、それを「FA
CT、MATH、LOGIC」の3点セットで深く分
析することである。